【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年7月5日(2024.7.5)

【公開番号】特開2023-99103(P2023-99103A)
【公開日】令和5年7月11日(2023.7.11)
【年通号数】公開公報(特許)2023-129
【出願番号】特願2023-73312(P2023-73312)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ 27/16(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ 27/16

【誤訳訂正書】
【提出日】令和6年6月27日(2024.6.27)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１６】
それゆえ、本発明は、第１に、下記のように、式（１）の具体的な光活性モノマー、その非架橋ホモポリマーが、水溶性または水中で膨張可能である少なくとも１つの親水性モノマー、紫外線吸収剤、および架橋剤を備える、組成物に関し、ここで式（１）のすべての化合物の総計の、すべての親水性モノマーの総計に対するモル比が、１：０．５１～１：１．２４である。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２２】
Ｒは、それぞれの出現において、同じか、または、異なって、１～１０の炭素原子を有する直鎖または分枝のアルキル基、１～１０の炭素原子を有する部分的にハロゲン化されたか完全にハロゲン化された直鎖または分枝のアルキル基、１～１０の炭素原子を有する直鎖または分枝のアルコキシ基、または１～１０の炭素原子を有する部分的にハロゲン化されたか完全にハロゲン化された直鎖または分枝のアルコキシ基から成る群から選択される；
非架橋ホモポリマーが、水溶性または水中で膨張可能である、少なくとも１つの親水性モノマー；
少なくとも１つの紫外線吸収剤および少なくとも１つの架橋剤、ここで式（１）のすべての化合物の総計の、すべての親水性モノマーの総計に対するモル比が、１：０．５１～１：１．２４である。
組成物の用語は、製剤または調製物の用語に関して同義のもとに使用される。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５８】

上記のまたは好ましくは記載のとおり、式（１）、（２）、（３）、（４）の１つ以上の化合物、または化合物（Ｍ－１）～（Ｍ－６３）の他に、本発明にしたがう組成物は、上記のとおり、親水性モノマーまたは親水性モノマー群の組み合わせを備え、ここで、式（１）のすべての化合物または式（１）の好ましい化合物の総計の、すべての親水性モノマーの総計に対するモル比は、好ましくは１：０．５６～１：１．２、またはとくに好ましくは１：０．６～１：１である。